

令和元年度 運輸安全マネジメントレビュー

令和2年4月 豊鉄観光バス株式会社

NO. 1

取組計画	実施状況	経営トップレビュー
1. 安全目標 (1)人身事故件数 0件(前年度 0件) (2)有責事故件数 6件以下 (前年件数 23件) 2. 安全に関する会議の開催 (1)全体会議(月1回) (2)事故防止集会(全社員、年2回) (3)安全衛生会議(月1回) (4)整備管理者会議(月1回) (5)豊鉄グループ安全運輸委員会(年3回) (6)豊鉄グループ安全衛生委員会(月1回) (7)豊鉄バス、警察合同事故防止会議(年1回) (8)上期運輸安全マネジメントレビュー(年1回) 3. 教育・訓練の実施 (1)指導監督方針および法令で定められた内容の実施(事故防止集会開催時) (2)運転士技能研修(専門機関、年2回、各2名程度) (3)運行管理者一般講習他(年2回程度) (4)安全マネジメント研修(年2回程度、各1名) (5)事故惹起者研修(専門機関) (6)CS研修(年1回) (7)冬季対策実地研修(年1回) (8)旅程管理研修(年1回) (9)コンプライアンス研修(年1回) (10)事故、災害に対する危機管理訓練の実施(年1回) (11)救急救命講習の実施(年1回) (12)外部講師による安全研修の実施(年1回) (13)安全意識アンケート調査の実施(年1回) 4. 安全への投資 (1)輸送の安全に関する教育及び研修の確実な実施 (2)従業員の健康管理に関する施策の実施 (3)先進安全自動車(ASV)の導入 (4)デジタコ・ドラレコの全車装備 (5)安全確保のための予防整備の実施 (6)高性能モバイラルアルコールチェッカーの装備 (7)運行管理、労務管理一体型システムの導入 5. 社員の健康管理 (1)定期健康診断の確実な実施と的確な指導	1. 安全目標 (1) 0件 (2) 事故件数 13件 未達成 2. 安全に関する会議の開催 (1)計画通り実施 (2)7月、8月、3月に実施 (3)計画通り実施 (4)計画通り実施 (5)計画通り実施 (6)計画通り実施 (7)12月に実施 (8)計画通り実施 3. 教育・訓練の実施 (1)7月、8月、3月に実施 (2)7月(3名)、12月(2名)、2月(3名)、計8名実施 (3)上期に運行管理一般講習:6名、基礎講習:4名受講 (4)8月、10月に受講 (5)9月(2名)、10月(2名)研修を実施 (6)次年度に実施予定 (7)12月に実施 (8)8月に実施 (9)9月、1月に実施 (10)3月にEDSSシステム体験乗車 (11)新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施(3月予定) (12)8月に東京海上日動コンサルティングによる安全運転講習会を実施 (13)次年度に実施予定 4. 安全への投資 (1)7月、8月、3月に実施 (2)人間ドック受診、インフルエンザワクチンの投与の推奨 (3)5月に三菱ふそう製の大型2両、12月に日野自動車製の中型1両を導入 (4)全車装備済み (5)計画通り実施 (6)現在、20機配備 運転士に高性能携帯用アルコールチェッカーを配布済み (7)予約管理システムと運行管理システムの接続を協議中 5. 社員の健康管理 (1)診断結果を最終まで確認し、管理ノートなどで体調の把握に努めている。	1. 安全目標 ・人身事故件数は「ゼロ」で目標を達成することができました。 ・事故件数は前年度より減少しましたが、残念ながら、「6件以下」の目標を達成することは出来ませんでした。 ・いずれの事故も軽微ではありますが、未然に防ぐことができる事故でした。経験の浅い運転士による軽微な事故を減少させることはできていない。ベテラン運転士も含め、今後とも、基本動作の徹底、確認の励行など安全確保に努めてまいります。 2. 安全に関する会議 3. 教育・訓練の開催 ・年間で2回開催の事故防止集会では、損害保険会社による講習のほか、他社で起きた悲惨な事故を取り上げ、意見交換をおこないました。運転士外部研修として、自動車安全運転センターに8名、地元の自動車学校での基礎教習に3名参加させることができました。 ・健康管理にも重点を置き、上期には、保健師による健康診断の重要性に加え、脳疾患・心臓疾患について講習を実施しました。下期には、外部講師を招き、飲酒の健康に対する影響について講習を開催し、健康意識の向上に努めました。 ・引き続き今年度も事故防止集会で事故事例などを取り上げ、安全意識の向上をはかってまいります。また、運転士外部研修として、今年度も自動車安全運転センターの研修への参加に加えて、地元の自動車学校での事故惹起者および運転暦の浅い運転士を対象とした基礎教習を実施してまいります。 ・最新の車両は、衝突軽減ブレーキ、EDSSシステムなどが搭載され、電子制御になっているため、車両の能力を最大限に生かすべく、実際に乗車し、訓練に努めました。今後も実施してまいります。 ・社員全員に対して面接を実施し、健康面や業務に対する考え方など積極的に意見交換を行ってまいります。 4. 安全への投資 ・先進安全装備付きの新型車を大型2両、中型1両の計3両導入しました。(全45両の内、先進安全自動車は、28両となりました) ・今後とも安全の向上に関するきめ細やかな投資を積極的に行ってまいります。 【主な投資実績】 ○先進安全自動車(ASV)の導入 大型車2、中型車1両導入 投資総額:114,416千円

令和元年度 運輸安全マネジメントレビュー

令和2年4月 豊鉄観光バス株式会社

NO. 2

取組計画	実施状況	経営トップレビュー
(2)睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施と的確な指導 (3)運転士に対する脳MRI健診・心臓CT検査の実施 (4)産業医等によるメンタルヘルスのための個人カウンセリングの実施 (5)社員の健康状態の把握による健康管理の徹底 (6)最新健康管理機器の設置 6. 内部監査と改善 (1)名古屋鉄道による運輸安全マネジメント内部監査 (2)豊橋鉄道による運輸安全マネジメント内部監査 (3)会社トップ等による点呼状況、整備点検状況、出先勤務状況等の監査 (4)(1)、(2)、(3)の改善及び改善状況の確認 7. 情報の共有化、公開 (1)会社トップによる職場巡視、社員との意見交換会の実施 (2)ヒヤリハット情報の収集と活用 (3)事故、苦情の原因究明と情報の共有 (4)社内伝達システム等による情報の共有 (5)輸送の安全確保に向けた取組の外部への公開 (6)利用者への安全啓発活動の実施 (7)他社事故事例の紹介による安全啓発 8. その他の取組み (1)交通安全県民運動期間中の取組み(年4回) (2)年末年始輸送安全総点検の実施 (3)地域での交通安全教室の開催(警察、保育園との共催、年1回) (4)多重事故等防止訓練の実施 (5)無事故・無違反キャンペーンの実施 (6)輸送の安全確保を含むBCPの整備 (7)乗務員行動マニュアルの見直し	(2)要注意者を把握し、随時体調確認を行っている。 (3)12月から1月にかけて、23名が受診 (4)7月に新入社員のフォローアップを実施 メンタルヘルスチェックを8月に実施 (5)診断結果を最終まで確認し、再検査の受診を徹底 (6)血圧計、体温計を設置 6. 内部監査と改善 (1)12月に実施 (2)1月に実施 (3)4月、10月、1月に実施 (4)毎月の全体会議にて改善及び改善状況の確認を実施 7. 情報の共有化、公開 (1)4月、7月、9月、1月に実施 (2)事故防止集会にて活用し、事例を掲出。 (3)全体会議にて協議し、事例を掲出。 (4)随時、社内連絡システム「まもるん」にて発信 (5)ホームページにて公開 (6)ガイド乗務、ワンマンを問わずシートベルト着用案内を実施「シートベルト啓発シート」を全車に装備済み (7)点呼場周辺に掲示 8. その他の取組み (1)計画通り実施 (2)12月・1月に実施 (3)豊橋警察署、地元保育園との調整がつかず未実施 (4)3月に実施 (5)昨年に引き続き、班別の「無事故マラソン」を実施 (6)10月に退避経路、退避場所の確認済み (7)整理検討中	5. 社員の健康管理 ・診断結果による再検査者への追跡調査の確実な実施を行いました。 ・人間ドックの補助制度の活用への推奨に加え、脳MRI健診・心臓CT検査を実施(今年度は23名が受診)し、健康管理の強化に努めました。 ・メンタルヘルスチェックを実施し、保健師による面接を行い、心身両面の管理に努めました。 6. 内部監査と改善 ・内部監査については、概ね運輸安全マネジメント制度に沿い実施できたとの評価をいただきましたが、指摘事項については改善を図り、更なる向上を目指します。 7. 情報の共有化、公開 ・ヒヤリハット情報の活用と共有化については、事故防止集会で取り上げ意識向上を図りました。社内伝達システムの浸透度向上させ、情報の速達化に努めます。 ・今後も利用者への安全啓発として、シートベルトの装着案内をバス出発時ごとに確実に実施してまいります。 ・事故・災害に関する情報が速やかに伝達できるよう、報告連絡体制をより確実に行ってまいります。 8. その他の取組み ・社内独自の無事故キャンペーン(班別無事故運動)を実施し、安全意識、法令順守の強化を図りました。 ・交通安全運動期間中の地域運動に参加し、管内の事故防止に協力しました。 ・BCPについて、現状にあった改善に努めてまいります。 ・引き続き、要員不足と乗務員の高齢化が課題であり、乗務員の健康の推進に努めてまいります。 ・安全に対する意識の、全社員への浸透をより進めると同時に、接客サービス、お客様へのご案内などについてもレベルアップと均質化を進めてまいります。そのために、より分かりやすく、実践的な乗務員マニュアルを改訂いたします。